



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 健一 TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,546	12.6	841	9.6	786	0.5	510	△5.6
2022年3月期第3四半期	21,800	—	767	72.5	781	68.0	540	77.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 477百万円 (△7.2%) 2022年3月期第3四半期 514百万円 (53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	162.11	—
2022年3月期第3四半期	171.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	13,761	4,094	28.9	1,264.23
2022年3月期	10,521	3,765	35.0	1,168.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,981百万円 2022年3月期 3,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	6.0	917	11.0	917	10.8	600	4.3	190.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	3,150,000株	2022年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	304株	2022年3月期	304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	3,149,696株	2022年3月期3Q	3,149,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染対策や社会経済活動に対する各種政策の効果によって個人消費を中心に緩やかに持ち直しの動きがあったものの、ウクライナ情勢等の影響によるエネルギー価格の高騰を背景としたインフレ圧力の上昇、急激な金利上昇や為替の急変動などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、人流の回復や経済活動の本格的な再開により消費行動への好循環が期待される一方で、コスト高が企業収益を圧迫しており、相次ぐ値上げを余儀なくされ、消費減退のリスクが高まっております。また、SDGsをはじめとする世界的な社会的要請への対応等、企業が果たす役割や責任が増大しております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において乳及び乳製品、食品副原料、農産物加工品の販売が堅調に推移したこと、また、米国子会社の業務用ヒーターの販売台数が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,546,528千円（前年同期比12.6%増）となりました。また、売上高の増加に伴って売上総利益が増加したことにより、営業利益は841,778千円（前年同期比9.6%増）、経常利益は786,181千円（前年同期比0.5%増）となりました。一方、前期は連結子会社の清算に伴う為替換算調整勘定取崩益を特別利益で計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は510,585千円（前年同期比5.6%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、新型コロナウイルス感染症対策等による人流増ならびに夏場の猛暑の影響により、消費活動が回復基調に推移したものの、商品を値上げした10月以降は買い控えで消費が減速いたしました。また、原材料や資材等のコスト高騰が収束しておらず、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、既存取引先へのサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである業務用殺菌乳や脱脂粉乳などの乳及び乳製品、糖類などの食品副原料、茶類や果汁などの農産物加工品の販売数量が前期比で増加し、卸売事業の売上高は24,508,412千円（前年同期比12.7%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。新規顧客先向けのカップアイスの受注増に加えて、主要顧客先からの注文が前期比で増加したことにより、製造販売事業の売上高は515,377千円（前年同期比は12.4%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,220,601千円増加し、12,292,668千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ19,102千円増加し、1,468,518千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,239,703千円増加し、13,761,187千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,684,702千円増加し、7,995,302千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ225,371千円増加し、1,671,066千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,910,073千円増加し、9,666,368千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ329,630千円増加し、4,094,818千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,775,813	2,601,209
受取手形	87,066	153,155
売掛金	4,184,037	5,966,247
商品及び製品	1,506,790	2,230,455
未着商品	1,060,078	475,231
原材料及び貯蔵品	51,912	78,181
未収入金	122,173	255,029
その他	330,761	579,594
貸倒引当金	△46,565	△46,435
流動資産合計	9,072,067	12,292,668
固定資産		
有形固定資産	376,916	467,165
無形固定資産	4,075	3,507
投資その他の資産	1,068,424	997,845
固定資産合計	1,449,416	1,468,518
資産合計	10,521,483	13,761,187
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,071,470	6,585,573
1年内返済予定の長期借入金	764,608	822,743
未払金	171,923	254,846
未払法人税等	163,851	97,953
賞与引当金	44,004	23,400
その他	94,742	210,785
流動負債合計	5,310,599	7,995,302
固定負債		
長期借入金	1,376,909	1,546,240
資産除去債務	10,658	10,732
その他	58,127	114,094
固定負債合計	1,445,695	1,671,066
負債合計	6,756,295	9,666,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,712,605	3,075,155
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,368,209	3,730,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,627	204,386
繰延ヘッジ損益	12,659	△28,135
為替換算調整勘定	50,714	74,927
その他の包括利益累計額合計	313,001	251,178
非支配株主持分	83,977	112,880
純資産合計	3,765,188	4,094,818
負債純資産合計	10,521,483	13,761,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,800,326	24,546,528
売上原価	19,399,940	22,032,527
売上総利益	2,400,385	2,514,001
販売費及び一般管理費	1,632,589	1,672,222
営業利益	767,795	841,778
営業外収益		
受取利息	617	525
受取配当金	6,827	7,754
受取手数料	4,745	4,745
受取補償金	3,914	765
補助金収入	7,696	3,079
その他	5,445	848
営業外収益合計	29,247	17,718
営業外費用		
支払利息	6,053	6,686
為替差損	8,898	66,503
その他	117	125
営業外費用合計	15,069	73,315
経常利益	781,972	786,181
特別利益		
固定資産売却益	3,096	—
為替換算調整勘定取崩益	13,226	—
特別利益合計	16,322	—
税金等調整前四半期純利益	798,295	786,181
法人税、住民税及び事業税	223,834	236,094
法人税等調整額	19,407	17,667
法人税等合計	243,241	253,762
四半期純利益	555,053	532,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,122	21,833
親会社株主に帰属する四半期純利益	540,930	510,585

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	555,053	532,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,713	△45,241
繰延ヘッジ損益	△6,368	△40,794
為替換算調整勘定	6,481	31,283
その他の包括利益合計	△40,599	△54,752
四半期包括利益	514,453	477,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	496,784	448,762
非支配株主に係る四半期包括利益	17,669	28,903

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,583,468	216,857	21,800,326	—	21,800,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	159,516	241,686	401,202	△401,202	—
計	21,742,984	458,543	22,201,528	△401,202	21,800,326
セグメント利益又は 損失(△)	776,280	△12,436	763,843	3,951	767,795

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,951千円は、セグメント間取引消去3,951千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,257,366	289,161	24,546,528	—	24,546,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	251,045	226,216	477,261	△477,261	—
計	24,508,412	515,377	25,023,789	△477,261	24,546,528
セグメント利益又は 損失(△)	874,614	△29,794	844,819	△3,041	841,778

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,041千円は、セグメント間取引消去△3,041千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。